

## ケニアの図書館の実情 -- ケニア国立ナイロビ大学 図書館の例 (特集 続・地域関連コレクション -- 中東・アフリカ・ラテンアメリカ)

著者	Odari Masumi
権利	Copyrights 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	アジ研ワールド・トレンド
巻	186
ページ	15-17
発行年	2011-03
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00004286">http://hdl.handle.net/2344/00004286</a>



# ケニアの図書館の実情

## ―ケニア国立ナイロビ大学図書館の例

オダリ・マスミ

本稿では、東アフリカの中のケニア国の図書館の実情を、東アフリカを誇る国立ナイロビ大学の図書館を例に説明したい。

ナイロビ大学のジョモ・ケニヤッタ記念図書館（略称JKML）は東アフリカで収容能力が最も大きく、蔵書冊数も一番多いと言われている。JKMLでは、電子ジャーナルも多く、国連関係の資料や東アフリカ専門書などのセクションもあるのが特徴である。しかし、東アフリカのなかでも先進的な図書館ではあるものの、課題も多い。特にデジタル保管プロジェクトも始められてはいるが、資金不足のため、思うようにプロジェクトが進まないのが現状である。簡単にナイロビ大学図書館の概要および課題について以下にまとめてみた。

### ●ナイロビ大学について

ケニア国立ナイロビ大学は、一九五六年に東アフリカ・ローヤル・テクニカル・カレッジとして設立。その後、東アフリカ大学と名称を変え、一九七〇年に国立ナイロビ大学として独立し、今日に至っている。

現在では、東アフリカでトップの大学として評価され、一一の



ナイロビ大学

キャンパスから成る総合大学である。総学生数は五万人以上の学生、そして、約五〇〇〇人のスタッフが働いており、毎年、約七〇〇〇人の卒業生を排出している。最近では、海外からのトップ指導者の訪問も増え、二〇〇六年には、バラク・オバマ議員（現アメリカ大統領）をはじめ、二〇〇九年には、ヒラリー・クリントン国防長官がナイロビ大学で講演している。また、多くの海外大学とも交流を持ち、国際色豊かな大学に発展している。そのナイロビ大学に東アフリカで一番大きいとされる図書館がある。

ナイロビ大学には、中央図書館である、ジョモ・ケニヤッタ記念図書館のほか、付属図書館として、国内に一四の図書館がある。そのうち、一がナイロビ市内のキャンパス内にあり、残りは海岸地方

のモンバサ市内と、ビクトリア湖畔のキスム市内のキャンパスにある。

JKMLは東アフリカで一番大きい図書館で、人文・社会科学および建築・工学部の学生とスタッフ（教員および研究員）にサービスを提供しており、他の一四の付属図書館はそれぞれのキャンパスの学生とスタッフにサービスを提供している。年間平均して、学生五万人、スタッフ約五〇〇〇人が当館のサービスを利用しているとのことであるが、実際、JKMLは、約一六〇〇人の収容能力しかないの現状である。一方で、身体障害者にフレンドリーな施設になっている。



JKML図書館前

## ●当館のビジョン及びミッション

ナイロビ大学図書館のビジョンは、「アフリカの知識の提供、普及および保存のための第一線をいくアカデミック・センターになることを目指す」ことである。また、ミッションは、ナイロビ大学がより良い授業、学習、研究そしてコミュニティ・サービス、コンサルタントといった中心的活動を行うための最新情報を提供し、環境を整えることである。

## ●蔵書冊数

蔵書は、定期刊行物と本を合わせ、約七五万冊を数える。そのなかには、貸出し可能なものと、貸出し禁止の参考図書や、特殊なりサーチ・コレクションが含まれて



JKML図書館の中



OPACセクション

いる。

当館のシステムにある情報資料のカタログは、ウェブをベースとしたオンライン目録(OPAC)により、検索することが可能である。当館のウェブサイトおよび各付属図書館からもアクセスすることができる。

## ●電子化資料

当館は四万五〇〇〇以上の電子ジャーナル、そして、一〇〇〇以上の電子書物にアクセス(完全版)することができる。以下に代表的な電子ジャーナルを掲げる。

- (1) African Journals Online (AJOL)
- (2) AGORA (農業関連情報)
- (3) Blackwell-Synergy
- (4) Cambridge University Press

- (5) EBSCO Host Research Databases
- (6) Emerald
- (7) Gale Cengage Learning
- (8) GoogleScholar
- (9) JSTOR
- (10) Kenya Law Reports (KLR)
- (11) Oxford University Press
- (12) Nature Publishing Group
- (13) Geological Society

これらの電子化データベースおよびジャーナルは、全世界のどこからでもアクセスできるようにしており、ウェブサイトは <http://www.library.unbi.ac.ke> である。

## ●スペシャル・コレクション

JKMLには、二つのスペシャル・コレクションのセクションがある。East Africanコレクション(東アフリカ関係の蔵書)および、国連コレクション(国連関係蔵書)のセクションである。特にEast Africanコレクションは、六万冊を超える東アフリカ内の出版物(主にケニアの出版物)から成っている。East Africaコレクションには、東アフリカ国内の大学に通う学生が研究の成果である約一五〇〇〇の修士論文、博士論文が保管されている。また、海外の大学に留学していたケニア人大学生

の修士論文、博士論文も合わせて保管されている。

国連コレクションでは、国連関係の出版物をはじめ、世界銀行、IMFといった国際機関の出版物や刊行物が置かれている。スペシャル・コレクションでは、



East Africa Collection



特別コレクション



アーカイブ・セクション

ケニアの法令集、政府刊行物（経済調査書、人口統計、開発計画案、地区開発計画書等）も保管されている。これは、貸出し禁止で、館内のみの利用となっている。

### ●デジタル保管

デジタル保管プロジェクトは、大学の知識のアウトプットを保存し、普及する事を目的とし、二〇一〇年中旬に開始された。現在では約七〇種の研究資料を保管している。大学側は、このプロジェクトのプロセスを遅延するための資金調達計画に取り組んでいる。

### ●アーカイブおよび、視聴覚コレクション

このコレクションは、ナイロビ

大学のアーカイブをはじめ、他の施設のアーカイブや歴史的人物のアーカイブを保存している。

### ●開館時間等

当館の開館時間は、つぎのとおりである。

### ●利用者

図書館を利用者は、つぎのとおりとなっている。

- (1) 本学の教職員
- (2) 本学の学生
- (3) 外部者

外部者は副総長に図書館利用依頼書を出し、承認を得た場合のみ、図書館を利用することができる。

### ●貸出総数及び期限

館外に貸出できる図書の総数および期限は、つぎのとおりである。

表1

平日	午前8時より午後10時まで
土曜日	午前8時より午後5時まで
日曜日	閉館

表2

貸出カテゴリー	貸出総数	貸出し期限
教員および大学院生	10冊以内	30日以内
学部生	6冊以内	14日以内
職員	2冊以内	14日以内

### ●今後の課題

ケニア国内の私立・国立大学の急激な拡大と学生数の増加により、つぎのとおり緊急の課題に直面している。

- (1) 施設不足
- (2) 最新蔵書不足
- (3) 資金不足
- (4) スタッフの不足

施設では、特に夜間に学ぶ学生が急激に増えてきたため、一六〇〇人用の収容能力では足りなくなってきたのが現状である。また、学生数の増加に重ねて資金不足のため、プリント版の出版物が不足しているだけでなく、最新の出版物も入手できない状況におかれている。このため、特に教員は、図書館を使うことなく、教員室から、オンライン・ジャーナルにアクセスしたり、海外から必要な出版物を直接購入したりしている。結果、図書館を利用する教員の率は低くなっている。

また、スタッフに関しては、コンピュータ化により、専門知識のある図書館員の充実が必要となるが、ITの知識のあるスタッフが不足しているのが現状であり、今後、最新の図書館管理技術を身につけた職員の採用が課題となる。

以上、簡単ではあるが、ケニアのナイロビ大学図書館の特徴および今後の課題について紹介した。増加する図書館利用者がより使いやすくするためにも、図書館設備の一刻も早い改善が必要であることは確かである。

(Dr. Masumi Odari / ナイロビ大学 学部講師)

#### 《参考文献》

- ① ナイロビ大学図書館システム  
ナイロビ大学図書館サービスガイド
- ② Kavulya, Joseph Muema. University Libraries in Kenya. "A Study of then Practices and Performance."
- ③ E d o c h u - b e r l i n . d e / dissertationen/Kavulya-joseph-muema-2004-02-12/HTML
- ④ Wawire, Otiike Fredrick and Omboi Messah. Challenges faced in Establishing University Libraries in Kenya. Journal of Sciences Vol 218, pp. 148-154 Nov 2010 <http://www.academicjournals.org/ijis>